

緊急プラン(素案)に対する市民意見【全体】

No.	種別	意見
	全体	<p>「箕面市緊急プラン」を撤回して下さい。 倉田市長、関係の役人、過半の市会議員は「税金」を自分達のものだと曲解していると思えません。 「税金」は市民のもので、「血税」のムダ遣いを止め、市民の安全、安心を確保する為に使ってください。 (1)緊急プランは乳幼児、学生、高齢者、障害を持つ人、ひとり親家庭――など弱者に対する執拗ないじめ、そのものです。 (2)医療、保健の各種の廃止、補助金カット、市立病院の経営圧迫などは絶対に止めて下さい。「命」に係わるものを守るのが「市」の使命の筈です。 (3)私は年金生活者(年収約290万円)です。国民保険料の今以上の値上げは生計を大きく圧迫します。もし値上げされると食費、衣服費などを削るしかありません。値上げは絶対に止めて下さい。 (4)私の98歳の母親(国民年金生活者)は年に3枚貰えるマッサージ助成をそれはそれは楽しみにしています。助成があれば、1回2,500円で年3回マッサージ出来る処が、廃止されると1回4,000円の支出となり、諦めざるを得ません。助成は是非続けてやって下さい。 (5)大型開発案件(彩都や箕面森町、その他)は元々が杜撰な計画に「血税」を注入したものです。無責任としか言いようがない、これらの案件への「血税」のこれ以上の注入は即刻ストップし、市民の「命」「安全」「安心」を守ることに舵を切り直して下さい。 (6)今回の緊急プランは、年末年始を挟んで1ヶ月の間に意見募集、市民説明会など形ばかりで、まるで「騙し討ち」同然です。市民をバカにしたやり方と思っているのは私だけではありません。「改革特命チーム”ゼロ”」の方々も内心じくじたるおもいではありませんか。「市」及び「市長」は何事も正々堂々と透明性の高い、説得性のある政策を進める事が主権者たる市民に対する義務であることは改めて言うまでもありません。 以上</p>
012	全体	<p>箕面市改革特命チームゼロが、約900の事業を総点検し、改革が必要な事業について検討する事は、市の財政状況から納得出来ることである。しかしその際、何が必要で残すべきか、何が不必要なのかを見極めて優先順位をきちっと検討する事が大事である。そして、廃止になる事業については、長年その事業に携わってきた関係団体と十分議論を尽くして、現在の箕面市にはその事業が不必要だということを理解して頂いた上でないと、市と関係団体とのあいだにギクシャクが残り今後の市の事業に影響が出る可能性がある。また、市民に対しても、廃止した理由を示し、廃止によりどういう影響が出るかをきちっと説明して頂きたい。 最後に、国は今年度の予算の中で福祉や医療などの国民の生活に直結する事業の見直しを行いながら、今度の補正予算では、いわゆる「まんがの殿堂」の建設を計上している。現在の日本の状況における優先順位を考えると可笑しいように思う。箕面市もこのような、首をかしげるような優先順位を採択しないように望みます。</p>
013	全体	<p>緊急プランを拝見いたしました。手遅れにならないうちにこのような対策を取られている事に敬意を表します。ぜひとも「公平な受益者負担」や「団体の自立」といった所に重点をおいた行政を期待したいものです。また歳入の面で、一般財源の中心となる市税に滞納が2億5千万円もあることには驚かされました。いろいろ事情もあることでしょうが公平の原則から言えば滞納はなくすようにして頂きたいものです。 最近、市の外郭団体がらみのボランティアに参加しておりますが、ここでもこの試案のことが話題になっています。先日もある会合に出席して、色んな意見を聞く機会がありました。お願いしたいのは、市としてはあくまでも「公平の原則」に基づいて、これらの違った意見に対処して欲しいということです。なかにはかなり片寄った考えの持ち主もおられます。そのような場合は必ずその反対意見にも耳を傾けて頂きたいものです。NPOと違って各種団体は市の財源で賄われているわけですから、その職員は職務を遂行するにあたってはあくまでも公平であるべきです。市としては違った意見がある場合にはかならず議論をつくしてから結論を出されるようお願い致します。</p>

No.	種別	意見
015	全体	<p>箕面市政は、私達箕面市民の福祉や暮らしを守ることを考えた上で、この緊急プランを作成したとは、とうてい思えません。</p> <p>ちっとも、子どもやお年寄りや障害者が喜ぶ市政になっていません。むしろ逆になっています。</p> <p>就学援助削減 幼稚園運営補助・保育料削減 予防接種の見直し 長寿祝金の見直し 障害者グループホーム補助金の見直し 等々</p> <p>こまごまと削減して、彩都と箕面森町の関連事業に億単位で使い続けることの方が、無駄な支出だと思う。</p>
020	全体	<p>1. 意見募集に関する疑問</p> <p>ゼロ試案は「中立」「ニュートラル」な立場で作成したと説明会で述べておられます。中立とはポリシーが無い、ということではないので、言葉の使い方が不適切です。説明会での質疑応答で市役所関係の方からの質問は別として、市民からは数字を出してきた根拠(ポリシー)について聞きただす質問が多かったと思います。ゼロチームのスタンスとの間にすれ違いがあると感じました。何のための意見募集かについての認識のズレです。市民個人のバラバラの意見を関係部署に伝える、といわれても、市民にはそれがどう処理されるのか皆目わからず、空しさを感じます。</p> <p>2. Ver.3について</p> <p>Ver.3 では市民意見、市役所の関係部署の意見を聞いて「修正」したものを出す、との説明であったと理解しています。Ver.3 の段階では上記のズレが解消されるのでしょうか？ 削減の数字の中にゼロチームが考える市政のポリシーが盛り込まれると理解してよろしいでしょうか。それがあってはじめて市民としては意見を言い、身の処し方を考える動きが取れると考えます。Ver.3 を作成するまでに各部署においては関係する市民個人、市民団体の意見ができるだけ集約され、試案に盛り込まれるようなプロセスを踏んでいただくことを期待したい。</p>
023	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を分かり易く作成してほしい。「ゼロ試案」の詳細(Ver.2)P1下の表に単位がなく、upかdownかも示していない。改革額のみで総額が不明。5年間の改革額は単なる1年の5倍値であり必要でない。 ・政策(改革)に対して責任を明らかにする事がなされていない。現状に至った責任の明確化(誰が、どの程度、今までムダな出費を行ってきたのか)、またそれに対する責任を果たす姿勢を見せてほしい。また、今回の改革が、試算通りに行かなかった場合の責任の取り方を示してほしい。 ・市民に負担をしいるなら、むしろ市議員を減らさない。世間と同じ成果主義であるべきで、役に立たない人に支払う金はない。また、市議の給与、手当、恩給など更にカットしないと、市民は納得できない。 ・実施している項目の利用実績を明らかにし、費用対効果を明らかにすべき。利用されている項目より、利用されていない項目を削減すべき。 ・保育料の増加は7万円/人となり、この不況下にこの激増は非常識。子育てしやすさをうたうなら、実情を考えてほしい。値上げは認めない。 ・箕面市の方向性が示されていない。省資源、再資源の推進は継続するなど、改革点のみでなく、市の全体の方向性が分かりやすい案にすべきだ。

No.	種別	意見
032	全体	<p>試案 Ver.2の説明会に参加して感じたこと 説明会に参加していると、それぞれに団体等の補助金が減っては困るから減らさないで、と主張するために来られているような方々が多いのではと感じました。</p> <p>それは、まさに総論賛成各論反対の形になっています。市民の不満を探すだけならばこの方法もよいと思いますが、各論反対者は「市民意見に対する市の考え方」などのレポートも十分に読まないで来られているようにも見受けられました。それでVer.3を発表されるまでの間に、それぞれ「かわりのある関係団体との間」で十分な話し合いの時間をとられることを提案いたします。</p> <p>十分な討議の時間の必要性はそこにあるので、説明会ではその話し合いの結果と市の考え方を発表していただいたうえで、それぞれ納得し、なお不明瞭の点があれば追加説明をしていただくというのが理解しやすいように思いました。そうでないといつまでも「行政が勝手にきめて押し付けている」という不満になってしまうように思いました。</p> <p>市民病院の合理化の内容も何らかの方法で公表していただきたい。病院独自の改革プランの中に関連する開業医との連携方法の対策や救急医療への対応方法、近隣病院との連携の在り方などが考慮されていることがわかるものが提示されると納得し易いので、これらは別の機会に公開していただきたいと思います。図書館の統廃合の件も、早速に図書館司書の方に減額予算の中で出来ること出来ないこと、割愛すること追加したいことを皆さんで検討されてゼロ試案チームに進言されるようにすぐ伝えておきました。</p> <p>図書館は本を貸すところだけの機能ではありません。地域の子供から、老人までの利用者が、図書館を起点にいろいろな行事を行っています。それは子供対策でもあり、高齢者対策でもあり、地域密着サービスの拠点となる大切な施設ですから、増やすとも減らす必要はないと考えております。まさに運用の方法を考える時であるのだと思います。</p> <p>削減見直しの対象になっている個々のものもこのように他との関連を考慮して検討するときには、経費を削減しても今以上のことが出来る可能性があるように思われてなりません。というのは色々な団体が似た様なことをして市民を集めていますが参加する人は似たような顔ぶれです。一緒にやれば経費を減らしてもなお多数の実参加者を集めることができるのではないのでしょうか。提示された減額にどう対応するか市民とともに知恵を出しあい話し合う場がほしい。その根回しができるのはやはり行政の方々ではないのでしょうか。すでに検討されているグループもあると思います。その輪が早く広がりますように。</p> <p>収入の部についてはあの場では競艇のこと以外は話題になりませんでしたが進んでいるのでしょうか。</p> <p>頑張ってください。説明はよくわかりました。</p>
047	全体	<p>前年度のゼロ試案に対しても障害福祉分野の意見書を複数出させて頂きましたが、その意見に対してゼロ試案Ver.2での改革内容に何の変更もなくただ改革が1年先送りになっただけです。私たちは改革の先送りを願って意見を述べているのではなく、改革を考え直して頂きたく意見を出しています。昨年と同様の内容に対して同じ意見を何度も書くことは正直ばかりです。昨年度の528件のパブリックコメントを今年度以降も継続して、それぞれの項目の意見の総数として検討してください。</p> <p>また、ゼロ試案の詳細で、歳出改革の削減額を入れるだけで、昨年のパブリックコメントに対する市の考え方でおっしゃっていた、継続可能な物にするための慎重な検討を進める等の文言を入れて頂かなければ単純にゼロ試案では補助金をカットしただけとしかとらえられません。昨年度のように意見を募集してそれに対して市の意見を書き、また同じ内容のゼロ試案を作る様な卑怯な事はやめて下さい。よろしくお願いします。</p>
150	全体	<p>この不況の中、どの会社も経費削減を行っています。収入をふやすことはとてもむずかしいからです。まずは給料のカットです。箕面市は他市に比べ高給であるときいています。公務員だから安定している時代はおわったと思います。リストラ、倒産等で生活できない人も多数いる中、疑問を覚えます。市民サービスを悪化させさらに住みにくく、生きにくく、とどめをさすような市の方針です。もっと給料をへらしなさい。人をへらしなさい。</p> <p>まずはそこからだと思います！！</p>

No.	種別	意見
164	全体	<p>ゼロ試案(ver.2)に対する意見と疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中一貫教育校は箕面森町がまだ二年そこそこであるが、本当に上手く狙い通り機能しているのか、またその検証は誰が、どう判断するのか？ ・ 一貫教育の可能性:必ず同一場所になくとも工夫すれば出来ると思う。隣同志の小中学校でのソフト面での模索を考えるべし。例:六中と東小学校、4中と萱野東小学校 ・ 箕面森町と彩都での収入が増える具体的な根拠は？ ・ 上記どちらも市としての区画整理事業費は出さないと云うものの、維持費(学校・水道等)として彩都で年間3.5億円の35年間、箕面森町で1.7億円の31年間の支出が必要としている。これらは市民(子供達も含む)への借金である。本当にこれで良いのだろうか。 ・ 上記地域での人口増の具体的なシミュレーション;何年後にどのくらい増えるか？ ・ もし計画通り出来なかったとき、この試案企画者や責任者はいないのだから、その時点でどう対応するかが問題である。処罰や賠償を考えるべきではないか。 ・ 箕面新都心整備事業として平成21年度までに144億円もの支出が挙げられているが、再考する必要はないか。 ・ 設立時の萱野交差点も含め、交通混雑の解消問題をどうするか。 ・ 御堂筋線の延長時のカルフル付近の交通マヒの解消工夫(特に現在でも休日は酷い) ・ 箕面新町や彩都開発時の炭酸ガス消費減少量とその代替法 ・ 山並み景観の保全・育成を謳いながら、一方山を切り崩している。矛盾しているのではないか。彩都開発地域がもっとも酷い。 ・ 太陽光発電補助も良いが、この位は彩都や箕面森町など山を崩し、多くの木々を伐採しているのとのバランスはどうか。開発中止や延期、規模縮小等で直ぐにペイ出来るのではないか。 ・ 生涯学習は全ての人に権利があります。これを援助するのが公的機関の役割・義務でもありません。現在我市は恵まれている方かもしれませんが、他市からも羨ましがられるくらいにもっと充実すれば、箕面市は文化水準が更に向上し、真の文化都市と称することが可能です。無論自助努力も必要であることは云うまでもありません。市民を信じることも必要です。 ・ 阪急牧落駅のバリアフリー化への補助金を市が払うのは何故か？ ・ 新設地域交付金の地域とは？
196	全体	<p>一、意見</p> <p>少子高齢社会に入り、雇用、経済がくずれ暮らし直撃で不安な中、自治体である箕面市は憲法を生きし真剣に市民の暮らしを守る重大時期を迎えている。そのなかで、「人間らしく生きるため、健康的に安心して心豊かに暮らす元気生活」を、今後十年のまちづくり構想とする次期総合計画づくりの会議が行われています。無駄な事業を中止して、総合的・行財政計画とその推進を行うことが市民としての最大の願いです。</p> <p>ところが、「もみじだより」では、緊急プラン一年目として149億円の値上げと削減とあり、「緊急プランver.2」は、更に値上げ、廃止、有料化など全市民への公共サービス削減(124億円)を誇らしげに、箕面市(説明幹部)は、市民の福祉を守る自治体の基本的な役割を否定しているかのようである。</p> <p>最近、住宅専門家は、「平均世帯人員は2.67人(2000年)が、2025年には2.37人まで低下するなど、住まい社会が大きく変動しつつある。世帯数の増加に伴う新築需要は全然起こらず、世帯人員は縮小気味であることから、床面積増のニーズも理論的にはおこらない。このように、住宅需要も新たな事態に直面しつつある。高度経済成長期以降、推移した新築需要が減退し、既存住宅ストックの更新需要が増加し始めている。「今後、増改築、模様替え、修繕などの需要が、新築需要に替わって増大していく」と専門誌(CEL, Mar, 2009)上で指摘している。</p> <p>少子高齢社会に入り、雇用、経済がくずれ暮らし直撃で不安な中で、住宅需要の減少・高い空家率のなか、赤字750億円の水と緑の健康都市開発では、第二地区の民間開発は約半分開発抑制をしている。また、土地区画整理事業の保留地60Haを1㎡24万円の完売でも欠損額580億円という彩都西部では、2008年度に民間の購入ゼロ、公共用地の譲渡額が1㎡約5万円で、欠損額=赤字はさらに積み上げられようとしている。</p> <p>箕面市は、この巨額の赤字・欠損を大前提とした、二大開発事業関連に、今後、約40年間に約740億円(起債の償還額と市の財政出動)という市税投入を目論んでいるのである。緊急プランは大規模開発の続行のためか多くの市民から問われていましたが、もはや必要性・推進の根拠がなくなった、この二大事業をストップすることです。こうすれば、緊急プランは撤回できるものである。</p>

No.	種別	意見
		<p>二、提言</p> <p>「人間らしく生きるため健康的に安心して心豊かに暮らす元気生活」を、今後10年間のまちづくり構想とする次期総合計画づくりの会議が行われ、市民はみんなが幸せに、緑豊かで、住みよく、働きやすい箕面にしたいと願っています。そのため、次の2つの「箕面総合的・行財政計画とその推進」を提言いたします。このように限られた財政でも合理的、最も効果の大きな相乗効果を当面する市政運営の柱にすべきである。</p> <p>一つは、国民の要求する社会資本整備では、福祉・医療関係施設(老人ホーム・病院など)は1981年28%は、2004年40.6%で、高齢化社会に実態にみあうまちづくりが求められている。また、厚労省の「医療と福祉の産業関連に関する分析研究報告書」によれば、介護、障害者雇用といった社会福祉分野は、100万円当たりの雇用誘発係数が大きく、公共事業における100万円当たりの雇用誘発係数0.09970人に対し、社会福祉は約1.8倍の0.18609人、介護では約2.5倍の0.24786人です。このような視点から新たな箕面市総合計画の評価方法を確立し、このような効率的な市政運営に転換することです。</p> <p>二つめは、公共事業が減らされるなかでも、大型事業が優先され、雇用、経済がくずれ、総合政策である生活密着福祉型への投資を増やし市内雇用・経済循環を最重点の課題に転換することが重要です。「公共工事着工統計調査年報」の「工業規模別・労働者係数」によれば、例えば、大規模工事5億円の工事の雇用効果と、小規模生活密着工事(500万円)の工事費5億円の雇用拡大の波及効果は、大規模は5,200人(5億円×10.4人/百万円=5,200人)、小規模は1万人(5億円×21.1人/百万円=10,550人)を超え、2倍の雇用拡大効果があるものである。直ちに、生活密着福祉型への投資を増やすとともに、大規模工事の下請け建設や建設資材は、市内建設や商店からの雇用と購入も工事契約条件とし、市内循環経済、雇用拡大に全力をあげることである。</p>
207	全体	<p>緊急プランVer2について</p> <p>パッと見て、社会保障の一律削減が目につく一方、箕面市の財政危機を招いた？施設、補助金のあり方についてなどの根本的な見直しが出来ていないように思う。施設も一律値上げや、カットで、6月末に行われた説明会結果議事録6月24日開催分A26の回答のように図書館の5,500万円の削減について「例えば指定管理者制度導入した運営方法の見直しにより」とあり、短期間だったこともあるのだから、近隣の市町村の改革よりもやっていることが遅すぎ。近隣の市町村の改革で検索すると、アウトソーシングの導入、外郭団体の見直しなど、具体的名前をあげて先の先までやっている。箕面市ももっと、ただ一律カットではなく、近隣の市町村の改革プランを知り勉強し参考にすべきである。社会保障のカットは直ぐ、反映されやすいのでしたいのだから、根本的な解決策になっていない。</p> <p>部長ブログを呼んでいる。ブログも良いが、 http://www.pref.osaka.jp/kikaku/b_manifesto/lineup.html#bukyokucho 大阪府部局長マニフェストではないが、緊急プランでたが、このようにしたいとか、案とか無いのでしょうか？でそのようなことを考えさせて言わせることも部長の言葉が必要なような気がします。それより、自分の部署の予算カットは認められないと言った意見の方が多く出るのでしょうか？6月末に行われた説明会結果議事録6月26日開催分A73「非効率な部分も確かにあるし、職員全員が危機感を持っているかは疑問に思うところもある。我々伝えるべき立場のものが伝えていきたい。」読んでそう思いました。ご参考迄に大阪府ホームページより、部局長のマニフェストとマニフェスト案を添付致します。</p>

No.	種別	意見
214	全体	<p>1. 「Ver.2」を公表し市民の意見を聴取する機会を設けられたことは誠に結構な事であり、しかしこのような痛みを伴う政策を市民に受け入れさせ、成功に導くために欠かせないことは、市民の行政に対する信頼感を一層強固なものにする事が重要です。そのためにパブコメで提出された市民の意見に対して、箕面市はどのような基準・考え方に基づき対応するのかを丁寧に説明・公表すると共に、その妥当性を行政と市民間で議論する機会を設ける事です。市民の提出意見への行政の次の対応について、時代の趨勢を先取りする勇気あるご決断を期待しております。</p> <p>2. 緊急プランの背景として示した「めざす箕面の未来は」の3項目(「子育て・」「安心・支えあい・」「緑・住みやすさ・」)に対する予算配分は、箕面市の基本理念であり、またこれからの時代背景を反映した行政と住民との「協働」を推進する施策で構成することが期待されますが、その姿が十分に見えません。「高齢者表彰制度」はこの様な制度がなくても積極的に活動をしている高齢者に単純な恩恵(名誉)を後追いで与え、名誉に満足するタイプの市民を増やすのではなく、表彰対象となる健全な「協働」を市民間に広げるための呼び水となるような支援を実施することが大切であると考えます。また「子ども医療費助成」の考え方は前年度末に決定した箕面市国民健康保険料の「年齢軽減の見直しによる増額」とは矛盾する施策であるのみならず、所得制限を全廃とするその支給基準は「助成」を必要としない階層にまで恩恵を施すものであり、「助成」本来のあり方を放漫・無軌道とする前例を箕面市自体が作るものとも言えます。子育ては社会的に重要性が増していることは明確ですが、どのような時代であれ子育ての基本は各家庭の「自助」で取り組むべきものであります。「公助」の「助成金」は「自助」が困難な場合に始めて最後の手段として提供すべきものであります。行政が市民に単純な恩恵を与える旧来タイプの予算を「緊急プラン」に紛れ込ますのは、本プランへの真摯な取組に水をさすものであり、また品格を欠く施策であるとの批評に耐えることを難しくするものでもあります。</p> <p>3. 人件費に関して(仕事の効率と組織の責任について);職員数・人件費の基盤となる業務推進体制のうち、箕面市が採用する比較的短期間に職員を職場間で異動する方式が、市の業務推進の効率に及ぼしている影響を明らかにし、その対策を「緊急プラン」などの財政的施策と同時に併せて講じる必要があると思われます。立案しただけで新任担当者により十分遂行されないまま消滅したり、未完に終わったりする「計画」等を発生させる幾つもの大きな無駄が箕面市にあることを踏まえ、すべての計画等の立案者がその思いを込めて実行にあたるため一定期間を与え、その成果を評価した後に次の業務に異動させるなどの方式を採用すべきです。同時にそのような無駄を生み出すことが無い行政組織の先見性の向上と責任体制を併せて確立する事が重要です。</p> <p>4. 箕面市から一般会計についての説明のみならず企業会計、資産など財政状況全般に関しても市民に分かりやすく説明して頂きたい;企業会計への繰り出し金の多寡、あるいは箕面市の社会資本の充実度、老朽度、また余剰が一般会計にも大きな影響を与えている事が「緊急プラン」の随所に認められます。今後も引き続き変動する企業会計や資産の更なる充実、更新あるいは売却など箕面市財政の全般状況こそがこれからの「まちづくり」の推進に大きな影響を与え、同時に当「緊急プラン」のあり方を左右する基本的要因であることは明確です。箕面市の財政状況の全体像を「緊急プラン」と併せて判り易く市民に説明して下さい。以上</p>
		<p>次の各項目について、次ページ以降に意見・提言をまとめました。真摯にご配慮願います。</p> <p>検討の進め方全般に関する意見 もっと市民と政策議論を 市民意見に対する市の考え方 意見提出市民の目線に立って 市民も箕面市は財政豊かな自治体ではなく普通の自治体になったことを認識すべきである 市民が事実を正しく認識できる説明になっていない 個別事業、改革項目に対する意見・提案 平成21年度重点政策の実施事業に対する意見・提案 改革対象として追加すべき事業等に関する意見・提案</p>

No.	種別	意見
		<p>検討の進め方全般に関する意見　もっと市民と政策議論を Ver.1を市民に発表され、それに対して市民から多くの意見が寄せられました。今回Ver.2を発表されるに当たって、Ver.1に対する市民意見に配慮して、市民が意見を出すために検討する期間を充分設けていただいたこと、改革項目別に未実施時の金額も示していただいたことなどは評価しますが、緊急プラン全般に対する市民の疑問や個別改革項目に対する意見について市民との間で実質的な政策議論が行われないうまま進んでいることに疑問を感じます。Ver.1の説明に対し市民からも全面的に反対する意見や改革の対象となる各事業に対するビジョンが見えないという意見が多く寄せられていますが、財政の健全化対策を迫られてこれまでの政策や施策を大きく変えようとしているわけですから、市民との政策議論の場を設定していただかねばなりません。それが条例に定められた市民協働や市民参加の基本です。平成21年度予算反映版に資料10ページの下段に現在も議論を続けているとありますが、行政内部の議論を続けるばかりでなく、市民と堂々と議論を交わすことを恐れてはなりません。</p> <p>今回の「説明会の結果と質疑要録」を読みましても、実際の雰囲気はここに書かれているほどひどいものではなかったとしても、市民から指摘されたミスは認めず、行政の考えを一方的に市民に押し付けることに終始し、質問する、あるいは意見を言う市民の立場に立って一緒に考えるという姿勢はほとんど見られません。これではせっかく説明会を開催していただいても参加した市民にフラストレーションが溜まるばかりではないでしょうか。Ver.2についてはこの一方的な説明と提出される市民の意見に市の考え方を返せば終わりということではなく、Ver.3へ至るまでに、Ver.2及びVer.3で新たに提案しようとしている政策について、個別分野別に市民との政策議論を交わす場を設定願います。そういう機会を通じて、市民も個別の施策に理解を示して協力し、行政に対する信頼が向上し、真の市民協働への道も開けることでしょう。11月まで時間は充分ありますので、万一そういう場が設けられないとすれば、何故設けるべきではないのか、市民が納得できる理由を開示願います。</p> <p>市民意見に対する市の考え方　意見提出市民の目線に立って 市民意見に対する市の考え方については、市民一人ひとりの意見に対して個別に市の考え方を答えておられるのは評価しますが、個別の質問や疑問点に忠実に対応できているとは言えず、何故緊急プランが必要になったのかとか個別政策に対して多くの市民が疑問を残したままVer.2の説明を聞いても理解できませんし、まして納得できないのではないのでしょうか。一部に質問の意味がわからないとの説明もありますが、記名で意見を出しているのですから、わからなければ意見提出者に確認すべきです。意見を提出した市民の立場に立った視点で応えていただかねば、行政に協力しようとする市民も意見を言うのが馬鹿らしくなります。</p> <p>また、市議会に関する意見が多数寄せられていますが、これを市議会に伝えるだけでなく、市の考え方に相当する市議会の考え方を明記すべきです。市の財源不足対策として市民に多くの犠牲を強いていますので、市議会は単に議員報酬のカット程度ではなく、議会費の抜本的な削減策を考えているはずですので、多くの市民の理解を得られるよう市議会の考え方を公表願います。</p> <p>市民も箕面市は財政豊かな自治体ではなく普通の自治体になったことを認識すべきである 多くの市民に、箕面市は競艇事業の恩恵などもあって、比較的財政面で豊かな自治体であるという認識がまだ残っているとすれば、その認識を改めるべきです。過去の遺産である基金がまだ少し残っており、地方交付金の不交付団体であるなど、財政全般では全国平均の水準を上回っているでしょうが、こと経常収支比率に関しては全国水準より大幅に悪化しており、その改善が緊急課題であることは否めません。その主因は人件費比率が高いことと、普通の自治体に比べて過大な市民サービスにあるのですから、市民も単に自分の懐に影響するから反対というような自己中心的な考え方ではなく、このまちの将来や子どもたちの世代のことも慮って冷静に対応すべきです。これまで他の自治体以上のサービスを受けられたことに感謝すべきで、それを利権と捉えることは許されません。権利意識の高い一部の市民の行政依存体質からの脱却が望まれます。ゼロ試算に関して市から市民に提供される資料では、これまでに比べて市民個人の負担がどれだけ増加するのかわからないので、単純に市民から拒否反応が示されるのですが、財政面で普通の自治体になったからには、各種公共サービスや保育所保育料、幼稚園授業料、私立幼稚園児保護者補助金、障害者に対する補助金等々の各種受益者負担について国基準や近隣の自治体、類似団体等の実態を例示して、普通の自治体としての現状を説明して市民の理解を求めるべきです。</p>

No.	種別	意見
216	全体	<p>市民が事実を正しく認識できる説明になっていない Ver.1に対する市民の意見を考慮していただいたようですが、残念ながらVer.2でも次の通り市民が事実を誤って認識したり、市民の理解を混乱させるような説明が見られ、それが緊急プラン全般に対する市民の不信感を助長することになっていると思われますので、早急に修正または補足説明して下さい。</p> <p>いずれも市民に緊急プランの成果を誇大評価させようという意図に基づくパフォーマンスでしょうが、財政問題は一気に解決できる起死回生策はないのですから、事実を謙虚にまた誠実に市民と話し合っただ道にかつ着実に改善しようとする姿勢が大切です。</p> <p>1. 財源不足の解消金額について(事実を誤って計上している) 市立病院に対する繰出し金を3,157百万円削減し、その全額が財源不足解消に寄与するという説明でしたが、市立病院の改革による経営改善は重要な課題であるとしても、病院の改革プランでは当該期間中に繰出し金の減少を主因に累計で20年度見込み比1,264百万円の赤字が増加しています。従って、繰出し金の削減により一般会計の経常的な支出は減少したとしても、そのために生じる病院の赤字増加分は箕面市全体の財源不足の解消にはなりません。その事実を市民が正しく認識できるよう、この1,264百万は歳出改革額から控除すべきですね。 また、21年度にVer.1では示されなかった基金投入額1,015百万円を計上していますが、これは単に貯金を取り崩すだけで、箕面市としての財源不足を解消したことにはなりません。 いずれも見掛け上の経常収支比率を改善する要因ではあるとしても、市民に財源不足が解消したと誤解を与える説明は訂正願います。</p> <p>2. 経常収支比率について(市民の理解を混乱させている) 平成21年度当初予算反映版の3頁にはこれまで経常収支比率が100%を切っていたのに平成19年度に初めて100%を超えたと説明されていますが、同5頁では平成15年以降の経常収支比率が110%前後で推移していたのに対し、21年度は改革効果により104.5%まで減少し、如何にも改革効果が大きいように説明されています。このように同じ経常収支比率に都合よく2種類の数値を使い分けられたのでは、何が正しいのか普通の市民は理解できません。5頁の数値が正しいとすれば、19年度以前も経常収支比率が100%を超えていたにもかかわらず、十分な対応策を講じてこなかった行政の責任は重大であり、その点が財源不足を招いた主因であることを詳しく説明すべきです。説明責任を充分果たすことが必要と思われませんか。</p> <p>個別事業、改革項目に対する意見・提案</p> <p>1. 番号4 ふるさと納税 市役所の1,500名の職員(特に市外在住の職員の場合は効果が大きい)が寄付に応じるだけでも相当の金額になると思われますので、市役所内部や市民だけでなく箕面を故郷とする市外在住者に積極的に協力を求めれば、10倍以上の改革効果額が期待できるはずで。</p> <p>2. 番号7 特別職の人件費 教育委員など行政委員や審議会委員の人件費についても改革すべきであることはVer.1に対する意見として申し上げ、適切なあり方について検討を進めるとの回答でしたが、いつまでに検討し結論を出すのか明確にしてください。少なくとも22年度からの効果を期待します。特に月給制の委員に対する報酬が問題で、月に1日も勤務の実態のない行政委員に対して月給制で報酬を支払うことは地方自治法に違反するとの判決も出ていることですので、公平委員会、固定資産評価審査委員会、競艇運営審議会の委員に対する報酬は早急に改めるべきです。毎月開催される委員会でも欠席委員に報酬を支払うのは法律上も問題です。</p>

No.	種別	意見
		<p>3. 番号61 図書館の再編統合 説明会では人口の割に図書館が多いので1館減らす前提で改革額を算出したということでしたが、まず現有図書館の運営の効率化を図るべきで、市民と共にその方策を検討すべきです。現存施設の閉館については市民の反対意見も多いので、苦勞もせずに安易な手段で事業費さえ削減すればよいという発想ではなく、如何に市民サービスを低下させずにコスト削減を図るか、市民と共に苦惱しながら対策を検討願います。</p> <p>4. 番号64 病院事業会計への繰出し 上記の1.「財源不足の解消金額について(事実を誤って計上している)」の項目で指摘した問題点に関連して、Ver.1に対する意見として、病院の利益改善が進む範囲で繰出し金を削減すべきであると申し上げましたが、その意見に対する回答が見られません。市民意見に対して的を外さず忠実に回答していただくべきことは既に記述しました通りです。 市立病院に関しては平成28年度には市に負担をかけないで経営すると説明されています通り、その経営改革は非常に重要な課題ですが、公立病院として市民が期待する機能や役割を低下させず、市立病院に対する市民の満足度を向上させながら、単年度収支を黒字化することは大変達成が困難な目標であることを認識しておく必要があります。病院関係者だけではなく有識者や市民の協力も得て公立病院の可能性と限界をきっちり見極めつつ改革を進めるべきで、私立病院が黒字だから公立病院も黒字にできるはずだという単純な発想から数字だけを追いかける経営になっては、市立病院の存在意義を失うばかりか、病院は崩壊しかねません。</p> <p>平成21年度重点政策の実施事業に対する意見・提案</p> <p>1. 番号1-1 公共施設などの耐震化 事業の見直し番号65にある公共施設改修の改善額との関連がよくわかりません。65の改革後の金額の一部とみてよいのでしょうか。他にも同様の疑問が残る重点政策項目が見られます。</p> <p>2. 番号1-5 高齢者の健康づくりと社会参加の促進 市民の健康維持や地域の活力向上は重要な課題であり、そのために活動している市民には敬意を表すべきではありますが、高齢者だけを対象とした表彰制度は要りません。なぜ高齢者だけが表彰され、高齢者でない市民は表彰されないのかも疑問ですし、表彰制度は事業費は少なくとも表彰対象者を公平に選定するためには相当の人件費もかかりますので、見かけ以上の財政負担になります。例えば、90歳を超えても介護保険の支援を受けない人を表彰するなど、対象者を機械的に選定できる場合は別でしょうが、表彰制度はなくても高齢者を含む多くの市民が健康維持と地域活性化に取り組む仕組みを構築すべきです。</p> <p>3. 番号1-6 支え合う地域活動の支援・促進 地域が実情に応じて自ら予算使途を決める仕組みは重要ですが、地域コミュニティが未成熟なこのまちで地域任せの交付金を支給するのは危険です。自治会費やコミセンへの補助金が役員の飲食費に使用されているという実態をよく認識し、行政主導で結構ですからまずは真の自治能力と地域のまちづくり能力を有するコミュニティの構築を図るべきです。</p> <p>4. 2-1「未来子ども基金の創設」 緊急プランによって市民にこれだけ大きな負担を強いているこの時期に、北大阪急行の延伸のように市民が期待する明確な事業であっても基金を積み立てるのは疑問なのに、何をしようとするのかわからないがとにかく子供のためという理由で基金を積む必要はありません。子どもたちのためになる事業を推進することは大変重要なので是非推進願いたいですが、重要で必要性の高い事業は基金を積まなくても実施可能なのです。基金があるが故に、国や府から補助金が出る時と同様に甘い判断で事業が進められることにもなりかねませんし、基金の運用益は公債の支払金利よりも低いのですから、公債の償還を優先すべきでしょう。</p> <p>5. 2-2子育て世代への医療費支援の拡大 子育てしやすさ日本一！という限り妥当な施策の一つでしょうが、示された投資額は事業内容の変更に伴う増加額でしょうか。それにしてもあまりにも金額が大きく再考を要するのではないかと思います。また、本件は健康保険とは関連ない施策としても、国民健康保険料を引き上げなければならないこの時期に、所得制限なしでの支援にも疑問を感じます。</p>

No.	種別	意見
		<p>改革対象として追加すべき事業等に関する意見・提案</p> <p>Ver.1は検討期間も限られましたので、効率を上げるために百万円以上の事業を対象に検討されたのは良いとしても、ゼロベースで見直すということは金額の多寡にかかわらずその事業をやめるとどんな問題が起こるのかという段階から検討すべきで、行政評価の対象になっている全事業を見直していただきたいです。たとえ少額でもそれが積み重なれば大きな成果も期待できます。また事業費だけではなく、事業遂行に必要な人件費も考慮すべきです。事業費が少なくても人件費がかかっている事業の廃止ないし縮小は職員定数の削減、人件費の削減に大きく寄与できます。今後検討すべき事業については市民意見にも多く提案されていますので、市民との政策議論を経て追加していただきたいですが、特にいわゆる箱モノの維持管理費の負担が大きいとの説明がありましたので、図書館に限らずあらゆる施設の運営の効率化についてそれを活用する市民とともに考えるべきでしょう。市民は多くの施設の利用者ですが、市民はお客様という発想ではなく、市民は主役(またはオーナー)と捉え、市民と共に協働で運営し、維持管理する方向へ転換していただきたいです。</p> <p>新規開発事業に対しても多くの批判的な意見が見られますが、既に開発が進行しているプロジェクトを全面的に中止するのは困難としても、既に一部提案されている通り財政状況に応じた対応は重要です。まして、多額の財政投資を必要とし、将来とも市民の負担が継続する北大阪急行の延伸については、強行すれば民生を圧迫することは必至ですので、延伸ありきではなく、延伸の可能性と限界について市民論議を起こし、大半の市民の納得を得て推進されるべきです。</p> <p>また、子どもばかりではなく高齢者も元気に暮らせるまちをめざすべきだと思いますが、箕面市では少ないものの、高齢者であるがゆえに優遇する施策は見直すべきです。市内の高齢者は所得は少なくとも資産を有している市民が多く、潜在的な負担能力があります。そういう意味では例えば老人福祉センターの有料化なども検討課題です。 以上</p>
218	全体	<p>市が収入を得るといことは、なかなか難しいようですね。細かいところで工夫しても、金額としては大きなものにならないということが、よくわかります。競艇の収入は、これからはあてにしない方向にしていかないと、ギャンブルの収入に頼るのは市民としていい気持ちがありません。</p> <p>家計では、どうしても削りようがなかったら、食費やぜいたく品を削ります。市の財政でも、とてもつましい、つましい節減がいっぱいあって、痛ましい気がします。ほんとうにこんなに庶民が身をへつらなければならないのかなあと。もっと大きな金額のところを見直せば、このような痛ましい節減はしなくてもよいのではないかと。</p> <p>たとえば彩都の小中一貫校は、そんなにいそいで建てなくても、もっと人が多くなってから建ててもいいことでしょう。それまではスクールバスを出して、既存の学校へ通うこともできたはずですが。</p> <p>北急延伸は本当に必要だとは思いません。高い税金をかけて、その恩恵にあずかる人がどれくらいあるでしょうか。</p> <p>彩都にしる、北急にしる、一部の人の利益のために多額の税金が投入されるのは、この経済不況の中、市民の共感を得られないと思います。私は反対です。</p>

No.	種別	意見
219	全体	<p>(1) 緊急プランについては、意思形成段階からの情報を公開、市民意見募集されたところ、前回の528件の市民意見提出となり、市民の市財政への関心を喚起したことは評価します。また今回はパブリックコメントに先立ち、市内4箇所で説明会を開催されたことも結構なことです。しかし、それは、あくまでもゼロ試案についての説明会であり、市長の考えや、担当部局の考えなどがわからないので、そこでは議論ができないと失望された方もおられたようです。</p> <p>次の段階で必要なことは、市民意見を踏まえて、行政と市民が大いに議論することでしょう。市長は、TVでも「徹底的に議論を尽くしたい」とおっしゃっていました。そして、合意点をさぐる努力が惜しまれてはならないと思います。市民意見を提出することは、問題点を明らかにすることにすぎません。それらの声があることを前提に、対案を探り、あるいは優先順位づけをしていく道すじを示していただければと思います。このパブコメのあと、いきなり予算編成に突入というのは、「議論を尽くす」という姿勢とは相容れないでしょう。</p> <p>また、市長の諮問機関である各種審議会や委員会、また協議会などで政策形成をはかってこられたところでは、どのような議論が行われているのかも明らかにしていただきたいです。</p> <p>(2) 一番の税金の無駄遣いではないかと思われるのが人事異動です。「市民協働」といいながら、人事異動で、いきなりごろっと顔ぶれが変わり、それまで積み上げてきたことが水泡と帰すことを私たちは何度も経験してきました。とくに、生涯学習や文化など、長い時間をかけて協働で作りに上げていかなばならない分野は、出先の窓口で市民と職員がつながっています。異動のときも、できるかぎり一つの大きなプロジェクト中は動かさないなどの時期の配慮、また研修などでスキルを磨いた人はかならずそれが活かせる場に置くなどの、配置上の工夫をしていただきたいものです。中央生涯学習センターの館長は毎年のように変わり、全体のレベルダウンになっているように思えます。指定管理者の検討よりも、まずは職員のレベルアップにつとめていただきたいです。</p> <p>(3) 市立病院の経営改革は必要ですが、現在の診療報酬体系のままで、独立採算をめざすことについては大いに疑問です。医療費削減の影響をうけて、リハビリの診療報酬に成果主義が導入されて、患者を選ぶという事態にまでなっていると聞いています。経営を圧迫するからといって、リハビリをやめてしまって、今後、増える一方のリハビリの受け皿が民間だけでいけるのでしょうか？とくに生活に厳しい介護難民、医療難民を増やすことにつながらないかと心配です。</p> <p>(4) 生涯学習施設の利用料や減免制度の廃止について、パブリックコメントをうけて、公民館運営審議会や社会教育委員会議、教育委員会議で十分な議論が行われるよう希望します。とくに減免制度については、これまで基準を決めていないのではないのでしょうか。料金体系、そして減免による実質的な運営補助をどう行っていくのか、生涯学習基本計画に沿った前向きな議論を期待します。</p> <p>(5) 北大阪急行延伸については、「計画ありき」ではなく、人口減少時代に、また、一層の財政難が予想される中で、従来どおりすすめていくのかどうかについても、パブリックコメントの意見を参考にしながら大いに議論すべきだと考えます。とくに次期総合計画では、政策の優先順位を大切にしなければなりません。環境税などあらたな制度設計が整わないかぎり、現状では福祉や医療を犠牲にしてまで多額の税金を投入すべき事業であるとは思えません。</p> <p>(6) 地域交付金については、当事者である地域団体がどのような構想を描いているのかが明確になってから考えるべきではないでしょうか？ かつて、箕面市では、コミュニティセンターが各小学校区に整備されましたが、ソフトよりハードが先行したように感じています。まずは地域でどのような制度や事業が必要であり、そのためにどのような市の支援が必要か、地元団体間で明確な絵を描いてからでないと、貴重な交付金が十分活かされないのではと危惧します。これについても十分な検討が必要だと考えます。</p>

No.	種別	意見
220	全体	<p>21年度事業に関して 一番危惧されるのは、H21年度に本当に計画通りの収入増と支出減が見込めるのか？ということです 来年度には、必ず番号ごとの事業の結果を市民にお知らせ下さい。 特に疑問視されるものは、下記です その他事務事業の見直しは、具体的にどんな事業でそして予定額どおりできたのか 市民病院の繰り出しの抑制で本当に病院経営は大丈夫か 寄付・各種広告収入は見込みどおりに増えたのか？滞納対策は効果があったのか？ 国保は今年度は2億円分の値上げで、残りの4億円は事務事業の？見直し、できるのか？ 予定通り土地売却・定期借地はできているか？ 競艇収入の増収は可能なのか？ H22年度以降に関して 7.職員給与は、地域手当ではなく、本給での4% + 1%カットし、また役職手当の見直しをするべき 25. は対象者の見直しではなく、一回100円くらいの使用料を取る(低所得者は無料) 26.Mバスの見直しは、利用者の利便性向上の為であって、経費削減の為にするべきではない 30.公園管理は地域ごとに担当する業者を指定して、剪定・見回・植栽など1年間のすべての管理を任す 33.私学幼稚園補助金はもっと少なくして、公立幼稚園への入学をすすめるべき 57.1割負担だと胃がん検診は1300円になるが、近隣市は500円か800円。検診しやすいよう、安く抑えるべき 60.絶対反対、むしろ公立幼稚園をさらに充実するべき、また将来認定こども園として使えるように 73.スクールカウンセラーはこれからより必要になってくるのでは？ 76.これらの花のある景観は、ゆずによる箕面アピールよりもっと市内外の人にアピールできる事業だと思うので、もっと拡大して観光名所になるぐらいすばいと思う</p>
		<p>(ゼロ試算について) 緊急計画を立て、その実行にあたって改良する項目が挙げられたのがゼロ試算だと思います。が、公表するにあたってお願いしたいのは、検討できる項目なのかどうかを、担当部署に確認し、ある程度目処がつく段階で公表してほしいと思います。 (説明会について) 説明会が、「緊急プラン」に対してのものなのか、「ゼロ試算」に対してのものなのか、で内容・進め方がわかります。「緊急プラン」を周知し、その検討項目を報告するのであれば、その旨を伝えてほしいです。「ゼロ試算」を一緒に意見交換する場であるのなら、担当部署の職員もお願いし、テーマを決めて行ってほしいです。 参加者は、主催者が予定する人ばかりではないため、うまく事は進まないかもしれません。が、進行しだいでは、主催者が思う方向に持っていけるのではないかと考えています。 (緊急プランについて) 市の財政状況を公開されています。このデータは、箕面市の財政の一部でしかありません。特別会計・企業会計は独立したものとみて良いのかもかもしれませんが、市に影響のある「市債」「繰り出し」「補助・負担」などは、何らかの方法で見せてほしいと思います。 また、緊急プランは計画書であると思っています。そのため、箕面市の今後をどう描いているのか。事務をされている職員のみなさんが実状を知った上で、どんな市の運営を描かれているのか。そのあたりをまとめてほしいと思います。市長さんの描かれるまちを、事務方として描ける部分は計画に反映されていると思いますが、具体的な実例をあげ、描かれている計画を実体を感じられる表現にしてほしいと思います。また、それだけの実現可能を思わせる内容の計画書にしてほしいです。 (ゼロ試算の個別項目について) 障害者施策について 障害者自立支援法の影響で、さまざまな補助がなくなろうとしているようです。生活の実態がみえないため詳しくはわかりませんが、重度でも2級～3級の方、精神障害者の方が厳しいという声をおききました。国が法をかえるなかでどこまで市が補助しているのかはわかりませんが、市として「障害者施策」をどうしたらよいのか。どのように考えていくのか教えてほしいと思います。</p>

No.	種別	意見
221	全体	<p>教育・子ども支援について 子育て中の応援をいわれ、廃止・削減・値上げなど、厳しく思われる項目が列挙されています。個人に対するものは、所得や家庭環境の考慮をされてあげられているようなので、わかっていただけないと思います。教育現場の環境(17・73)については、職場の先生たちのしんどさが緩和されるものなのか、と同時に、子どもとどのくらい深く関わっているのか、が気になります。その職務だけでない場合は、その仕事内容について検討してほしいと思いました。</p> <p>人権・外国施策について 外国の方がどのように市の情報を得ているのか、外国の方とどのような不安をもたれているのか。その中で情報提供の部分をどうしたらよいのか検討してほしいです。国際交流協会の役割について再確認してほしいと思いました。</p> <p>商店・観光・地域のまちづくりについて 商業・観光の地域活性について、商業者・観光業界が取り組まれていることで軌道にのってきたものは、徐々に手を引くことは気になりませんでした。</p> <p>箕面まつりについては、市民が「箕面市の祭り」として考えられているのかわかりません。何かの機会があったら、アンケートをしてみたいかがでしょうか。あれだけの規模になって、継続を考えていくのであれば、必要な補助に思いました。</p> <p>地域交付金について、その対象事業が各団体の運営の財源になっています。与えられるだけの補助金は必要なく思いますが、実働をともなった「街灯管理」「廃品回収」「敬老会・老人憩いの主催」「子供会運営補助」はそれぞれの団体に配分してほしいと思います。この項目については、担当部署が分かれているため、次回の試案公開までには、市として取り組むのかどうかを再検討し、掲載していただきたく思います。</p> <p>個人負担について 値上げ・新設は周知が難しく大変だとは思いますが、その理由・説明がきちり行えるものにしてほしいと思います。国基準では妥当なのかどうかかわかりません。市として基準をそう定めた理由を説明別に示せるものにしてほしいです。他に合わせるのは簡単ですが、独自判断で決断してほしいです。</p> <p>土地・建物など財産について そのものを活かすのか、処分するのか、判断されるのは難しい選択です。施設・土地の目的が他施設・他の土地でまかなえるのか、施設については代替えをどう提示していくかを教えてほしいです。土地については、取得目的が必要なものなのかどうかかわかりません。市の今後のまちづくりのうえで必要か不要かを教えてほしいと思いました。</p> <p>事務・経営について 経営されている市役所職員さんが必要と思われるのは必要であり、削られると思うのは不要であるわけですから、必要である説明がつかないものは検討対象にしてほしいです。これには職員一人一人が職務を省みて、自分の経費を検討してもらえないと思います。余分なお金はでないと思いますが、次回の試案ではそのあたりが数字でできたらよいと思います。</p> <p>人件費については、市長や上司が必要とされている職務への対価だと思いますので、あまり削減を目標にせず、きちり仕事をしていただけるよう、仕事配分・目標の明確化をしてほしいと思います。</p> <p>(最後に) 現在、箕面市の経営が厳しいのかどうかは、はっきりとわかりません。事務をされている方々の情報を信じ、このような形で自分の思いを伝えさせていただきました。なにぶん事業の中身を知らないなかでの意見です。当事者でないため具体的な意見も書くことができません。ご考慮いただけたらと思い、送らせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。</p>

No.	種別	意見
222	全体	<p>市民協働による真の行財政改革に向けて 私たちは、緊急プラン(素案)ゼロ試案Ver.2に関して、市民と行政の議論の場をつくることを提案します。</p> <p>箕面市は、平成25年度に財源不足を解消し、当初予算において経常収支比率を100%以下に抑えることを目標に、市長の特命をうけたゼロチームが緊急プランを策定、このたび、ゼロ試案Ver.2として発表しました。緊急プランは、箕面市を「子育てしやすさ日本一」「安心・支えあい最優先」「緑・住みやすさ最先端」のまちにするためには、財政健全化を図る必要があります、そのたたき台として作られました。それぞれの部局との合意形成前の段階で、市民に向けて公開、市民意見を求められたことは高く評価するものです。その結果、前回のパブリックコメントにはたくさんの意見が提出され、市民の箕面市財政に対する関心が一気に強まったのではないのでしょうか。</p> <p>しかし、パブリックコメントは個々の意見の表明にすぎません。大切なことは、これらの意見をもとに、市民と行政が議論をつみ重ねることにより、より効果的で質の高い政策へと向かうことにあると考えます、それが本来の「市民協働」ではないのでしょうか。</p> <p>厳しい財政事情を踏まえて、職員と市民が十分議論することにより、あらたな発想を取り入れた市民協働の政策が生み出されることに期待します。おりしも、第五次総合計画策定が始まっています。これからの総合計画は、財政事情を抜きにしては語れないでしょう。総合計画策定にあたっては、市民と職員の有志が集まる市民会議で提言がまとめられ、それを土台にして、現在市民と行政職員で構成される策定委員会で議論されています。</p> <p>箕面市では、他市にさきがけて「市民参加条例」をつくり、意思形成段階からの市民参加をすすめてきました。その結果、すべての審議会には市民公募委員が入り、政策決定前に市民意見を反映する機会を保証してきました。たとえば、水道料金についても市長の諮問機関である箕面市水道事業及び公共下水道事業運営審議会において検討されてきました。今回は、そのような諮問機関に委ねることなく、直接、パブリックコメントで市民意見が求められています。</p> <p>次の段階として、政策議論の場が必要です。</p> <p>これまで箕面市では、豊かな財政に支えられて、高水準の行政サービスが提供されてきました。未だに市民の中には行政依存体質、そして行政職員の中には形だけの「市民参加」に終始しているという部分がないとは言いきれません。今こそ、市民と職員がともに知恵と力を出し合うときです。緊急プランを契機として、そのような議論を開始することは、単に事業費の削減や市民負担を増やすことに終始することなく、既存の行政サービスを超越する「あらたな公共」へと脱皮する端緒となりえるでしょう。</p> <p>政策決定に至るプロセスを丁寧にするには、多くの時間はかかるかもしれませんが、結果的には市民協働をすすめ、真の行財政改革を促すことになると思います。</p>
223	全体	<p>この度はテキストにて情報を提供していただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>今後は、パブリックコメントの指針にもありますように視覚障害者も市民として認識をしていただき、点訳、音声化そして、hpに対してはhtmlファイルの併設をされて情報の提供を宜しく願いいたします。</p> <p>説明会におかれましてはお子様をもたれている方にたいする保育、聴覚障害者に対する手話、要約筆記とともに視覚障害者に対する対応もしていただきますようお願いいたします。</p> <p>以上どうぞ宜しくお願いいたします。</p>
235	全体	<p>今回の素案を考えられた特命チーム「ゼロ」は本当に意味のないチームだと思います。予算の一律カットからは何の政策や理念も読み取ることができません。Ver.2であるにもかかわらず、付け焼き刃でとにかく予算を削減しただけのような内容に失望しています。最も弱い立場である子どもにも一律に負担をかけるやり方はやめるべきです。</p>

No.	種別	意見
250	全体	<p>「緊急プラン」はすぐに撤回してください。</p> <p>大型開発の見直しは一切せずに市民の生活を脅かす内容をばっさり切り捨てられる姿勢は断じて許せません。</p> <p>国民健康保険料の値上げに反対します。</p> <p>今でも支払えない人が増えているのに、なぜ生活を苦しくさせるのですか。</p> <p>市立幼稚園事業料、保育所保育料の値上げに反対します。</p> <p>少子化をとめて子育てがしやすいとする施策と逆行するものです。</p> <p>がん検診、特定健診の有料化に反対します。</p> <p>がんによる死亡率が増加している中で、早期発見、早期治療を進めるためには有料化では、ますます受診率を下げ、死亡率を上げてしまいます。</p> <p>図書館を減らさないで下さい。</p> <p>西南図書館をよく利用し、文化に親しんでいます。箕面の文化水準を下げないで下さい。</p> <p>就学援助の認定基準を下げないで下さい。</p> <p>子供達に豊かな教育を保障するのは行政の責任です。お金がないために修学旅行や林間学校に行けない子どもが出てきてしまいます。子供達に等しい教育機会を与えて下さい。</p> <p>障害者作業所、小規模通所援護施設、障害者雇用助成の補助金削減を行わないで下さい。</p> <p>憲法25条で、すべての国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有するとあります。障害を持っていても豊かな人生を送れるように、行政は援助するべきです。</p>
252	全体	<p>【17生徒指導担当者授業支援員配置事業など】</p> <p>文化部運動部指導者は、減らさないでほしいものです。これまで、学校でも指導者を確保する工夫をされてきました。クラブは、子どもの可能性を発見するきっかけにもなり、人とのかかわりを学ぶところでもあり、また居場所にもなりうるところです。これまでも少ないといわれてきた予算を、これ以上減らさないでほしいと思います。少年非行の状況が極めて深刻と言われているだけに、学習関係・学力をつけることだけでなく、心の部分に関係することにも配慮していただきたいです。</p> <p>【63職員開館の廃止】</p> <p>保護司会や民生委員・児童委員会や更正保護女性会なども、長年にわたり、一月に数回ずつ会議や作業で使用しています。廃止になれば、たちまち困ります。使用料や施設管理のことは見直しても、貸館はできないのだろうかと思います。今まで使用していた回数分が、他の施設で消化できるのか気になるところでありますので。</p> <p>学校施設の学習環境に向上</p> <p>市内の全中学校のコンピューター教室の全てのコンピューターを更新するとのことですが、コンピューターが新しくなるだけ、指導する側にも投資する必要があると思いますが、そのことも含めでの予算でしょうか。</p>
272	全体	<p>箕面森町の上に彩都まで、どんな推進派だった人も今や、開発の破たんの大きさを思い知ることとなっているだろう。それでいて市は、彩都に今から小中一貫校建設を強行しようとしている。学校もなければ入居する人もなくなるだろうとかいうことで。しかし、逆に無駄な出費の悪じゅんかんとならないか？</p> <p>また北大阪急行の延伸のため積立てがはじめられている。箕面の北には山が迫っているし、東西に長い街である。北大阪急行はもう十分に延びているといえるのではないか。</p> <p>そこで問題は、これら開発によって医療や社会保障がしわ寄せを喰らっているのはとても残念でつらい。</p> <p>市立病院でも例えば診療のない日があったりなど考えられないことが起きている。また今後も緊急プランに障害者作業所などへの補助金削減が挙げられている。私も四級の障害者である。障害をもつ身の限界を知る身として削減に反対である。</p> <p>そのほか沢山の生活や社会保障項目の圧縮に反対である。</p>

No.	種別	意見
279	全体	<p>(前半ファックス未着信) まず、箕面の行政は名称に酔いしれているとしか思えません！！ “子育てしやすさ日本一”や“特命チームゼロ”など、きれいごとの机上のネーミングです！更に市長の主張は全国の自治体を調査してのことでしょうか！？本気で上記の様な理念を掲げているとしたら、何と勉強不足の市民生活・幸せを考えないリーダーなのかと嘆かわしく思います。はっきり言って「箕面」は全国でも保育、福祉の面でもかなり遅れている“地方”であることを明言しておきます！！物価も高く交通は不便、保育は近隣の市に比べても数少なく、良いとこなしです！唯一誇れる自然も昨近では山を削り、マンション家建設ラッシュにより、その限りではありません！！若い世代を呼びこみたい意向は感じられますが、こんな行政サービスが低下している箕面では新しい世代が満足し次世代を育てていくことなど、あまりに困難であるといわざるをえません。もっと市長、市役所の方々には市民生活に目を向け、“装飾された”机上の理念ではない真の政策を望みます！！</p>
284	全体	<p>抽象的な意見で大変申し訳ないのですが、「社会保障の観点」について意見を述べさせていただきます。 先日「ゼロ試案 Ver. 2」の説明会に参加させていただきましたが、その際にでた“保育所”と“図書館”の問題についてこう思いました。 ゼロ試案で挙げられている削減対象は、大まかに言うと市の独自給付、或いは横出しサービスであるとの話であり、よく理解できる点ではあります。しかし、便宜上比較させていただきますが、上記の二点について比べてみると、行政行為としてその根拠となる「意味」は大きく異なると考えます。 保育即ち、児童福祉法に於いて規定された全国民に補償されるべきものであり、その背景は更に日本国憲法の第25条「生存権」に依るものであります。 一方、図書館の数、有無の問題は、国民に最低限の生活を保障する社会的義務に対して、それを侵さないものであるとみる。 つまり、プランの要旨、つまり、削減を進めることは理解するとしても、その順序には決定的な順序が存在することは忘れてはいけないのである。 ここで発生する矛盾点は、「社会保障」と「横出しサービス」とが“ミーンズライン”の部分で逆に合理となってしまう点でしょうか。 あまり深く追求すると長文になってしまうので、この辺で止めようと思いますが、とにかく、削減対象の順序には、慎重になって頂く義務が行政には厳然と存在することをご留意おねがいしたい所であります。 余談ですが、説明会は、保育所関係の方々が言われていた様なこととは逆で、当事業所職員としてはたいへん理解しやすいものであり、感謝しています。 * 厳密に言うと、国民の他、日本在住の者を包括する。</p>

No.	種別	意見
285	全体	<p>1. 「緊急プラン(素案)」Ver2は見直し、再考を求めます。昨年、提案された保育所保育料の見直しや障害者作業所運営補助金の見直しなどは、実施を1年先送りしただけで、それぞれの事業に負担をかける市の考え方はかわったわけではありません。</p> <p>また、平成21年度に実施された国民健康保険料の値上げや、はり・灸マッサージの廃止などに加え、平成22年度には、就学援助の見直し、長寿祝い金制度の見直し、各種団体補助金の見直し、幼稚園、図書館の統廃合、公共料金の改定などが羅列されています。</p> <p>生活がかかり、子どもの教育に必要な就学援助制度をはじめ、対象にされている事業は、予算をきりつめる前にその制度や事業の持つ意味や役割を深く検討すべきではないでしょうか？その説明が見られません。私たちは、障害者作業所を運営していますが、作業所だけ存続できればいいとは思っていません。みんなが安心してくらせることを願っています。</p> <p>緊急プラン実施を急がず、国に補助金復活を求めることや、今、必要でない大規模な開発事業を勇気を持って見直すことを提案するものです。</p> <p>2. 私たちは、障害者の小規模作業所を運営しています。立ち上げて5年目を迎えています。作業所を立ち上げ、運営をささえてくださっている市の支援には感謝しています。</p> <p>しかし、緊急プランが実施されますと、作業所の存続は極めて困難になります。私たちの作業所は脳血管障害など、人生なかばまで障害によって、仕事をなくし、働きたくても働けない方々多く利用されています。作業所の存在は個々の日常生活上でも、将来社会復帰のうえでも欠かせないものです。作業所の存在ができなければ利用者の行く場がなくなるだけでなく、社会復帰をますますきびしいものにして、就労の機会そのものを奪ってしまうこととなります。どの作業所も、国の障害者自立支援法や医療や介護保険制度の後退など、施設も利用者も様々な困難に直面していると思います。</p> <p>このような時に、補助金削減をして運営を一層困難にする計画はとどまっていただき、少なくとも今年度同様に補助金を維持継続されることを願い、意見とします。</p>
286	全体	<p>私は「緊急プラン(素案)」Ver2を見直し、再考を求める立場でコメントします。</p> <p>市民生活に直結する経常的な支出の削減に反対します。</p> <p>とりわけ障害者作業所運営費補助金の見直しは是非撤回をお願いします。</p> <p>緊急プランの実施は、作業所にとって命取りになりかねません。</p> <p>作業所のメンバーの実態を正しく理解して頂きたく思います。</p> <p>私たちは、障害者も高齢者もひととして平等に尊ばれることを願って日々運営しています。</p> <p>善良な多くの市民に支えられて何とか維持運営しています。</p> <p>市民に向けての財政削減ではなく、無駄をなくすための見直しを強く望みます。</p> <p>保育所保育料の見直し、就学援助の見直し、歯科保健のあり方を見直し、長寿祝い金制度の見直し、各種団体の見直し、見直し、見直しと羅列ですが、どの項目もわずかな支出であり、しかも市民にとっては大きな打撃となるものばかりです。</p> <p>また、市の職員給与のカットとありますが、決して望むものではありません。職員にはきっちり支払いそして市民に温かい職員であることを願うものです。</p> <p>障害者作業所への運営補助金を今年度同様に実施してください。 以上</p>
288	全体	<p>市長、貴方は、今箕面の長ですが、殿様になる為に箕面にきたんですか？</p> <p>市長だったら市民が「ウン」って素直に頭を縦に振れるような税金の使い方をしてくれないと、市民の私達は納得できません。</p> <p>今の世の中は、弱い市民が必要としている事業資金をカットしたりとか、最後は何も言えない弱者に全部シワ寄せがくるようになっていきます。</p> <p>現実、今市長がしている事はそのものだと、私は見ていて思います。</p> <p>箕面って街をよく見たら、生きていることにも困っている人達もいる事を市長、貴方は知っています？知っていたら12月に出したパブコメで何かの動きをとってくれているはずですよ。</p> <p>市長はそんな小さな事までは気配りしていただけないですか？</p>

No.	種別	意見
297	全体	<p>結論 「緊急プラン(素案)」Ver.2は認められません。</p> <p>理由 Ver.1で箕面市は「財源不足を149億円解消し、経常的な支出を約10億円圧縮することができました」と市民への大幅負担増を痛みともせず一方的に評価(自画自賛)している。医療、福祉、教育など、箕面のセーフティネット確立の歴史は、その多くが市民による積年の要求運動と「協働」の成果であることは行政としても十分自覚しているはずである。</p> <p>不要不急、自然とみどりを破壊する市の大型開発と「緊急プラン(素案)」との財政的関連が、依然、不明確である。とりわけ箕面森町、彩都(国文4号線など)については、多くの市民が「何でもここまで」とその推進姿勢に多大な疑問・危惧を抱いている。</p> <p>福祉など市民サービスは削る、山は削るでは、古くからの市民に加え、せっかく「憧れの」箕面に来た人々を幻滅させ、市が考える将来展望に暗い影を落とす。</p> <p>パブリックコメントを「参考にする」と言いながら、ほとんどが当初案通りの強行では、市民の市政関与への意欲を著しく削ぐ。「あほらしい」と嘆く市民の存在は、市民参加の市政の樹立にとって大きなブレーキとなり甚大な損失と言える。以上</p>
299	全体	<p>この「緊急プラン案」は、経常収支比率を100%以下にすることを唯一無二の至上目標として、そのための支出削減の対象のほとんどを社会福祉関連の事業に置いて、弱者の切り捨てによって収支の均衡を保とうとしている。社会福祉関連の支出が軒並み削減の対象にされている。</p> <p>しかし、時代はもはやこのような政策を許さない段階に来ているのではないか？ 国家財政自体が「第2次補正予算」によって、バラマキと言われるのもいわず膨大な支出を行わなければならないところまで、弱者の窮乏化が進んでいるときに、この「緊急プラン(案)」は相変わらず福祉切り捨てによる収支の均衡だけを目標として数字あわせに狂奔していると思われぬ。文字通り「ゼロ」に立ち返って、地方財政の根本的な立場から再検討されることを望みます。</p>
301	全体	<p>「宝塚市都市経営改革行動計画」を参考にされ、箕面市も改革の加速を。</p> <p>今回の緊急プランは約90項目を職員がピックアップされたとのことですが、基準が分からない。と言うのが正直なところです。昨年末の説明会でも何故、この分野がピックアップされたのか？ 質問がありました。近隣の市町村(宝塚市、芦屋市、池田市など)は改革が進んでおり、インターネットで市町村のホームページから「改革」で検索するだけでいんな情報が出てきます。特に結構詳細に市の各内容を網羅しているのが宝塚市。分かりやすいです。一度、現場でしか分からないこと、こうすれば、もっとよくなるなど声か聞けるとしますので市長、議員、職員が行かれてみてはいかがでしょうか？ この緊急プランは何年も時間の要することですが、箕面市だけで考えると時間が掛かりすぎます。既に導入されている近隣の市町村のを参考にされ箕面市版にアレンジされるのも一案だと思います。</p> <p>http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/?PTN=LV3&LV2=11&LV3=56&LV4=0&regid=1162</p> <p>「宝塚市都市経営改革行動計画」にあって、箕面市の緊急プランに見あたらないものは以下の通り。</p> <p>箕面市の緊急プランで出された事務事業を削減されるのも良いのですが、「宝塚市事務事業評価システム」を導入され、一度、職員が一丸となって？ マニュアル、基準にしがたって、各部所、市職員全員を対象に事務事業の評価(市民サービスも含まれるのですが)をして市民に公表して頂きたいと思います。</p> <p>この緊急プランの中には「公共工事の縮減」が入っていないのですが、既になにか、箕面市は策を講じているのでしょうか？</p> <p>箕面市の個別型補助金の基準は？ 宝塚市の「個別型補助金の根本的な見直し」の導入はどうか？</p> <p>箕面市の、市職員に対する互助会に対する負担金はいくらですか？ お一人当たりの基準は？ 近隣に比べて、多くないか？ 又、互助会の各種事業の見直しも図るべきではないか？ 他にもありますが、あとは読んでみてください。</p> <p>「宝塚市都市経営改革行動計画」を添付してメール致します。</p> <p>宝塚市行財政システム改革マスタープランに基づく取組みについて(総括)及び宝塚市都市経営改革大綱(平成18年度～平成22年度)もご参考迄に添付してメールします。</p>

No.	種別	意見
302	全体	<p>1、基本的な考え方 近年、経済優先の論理が行政にも適用され企業並の採算性が求められていますが、病院・図書館・文化施設・スポーツ施設などは、もともと採算性が望めないから税金で行政が建設運営している。市民もこれら施設からの「住民福祉サービス」を期待して住民税等の税負担にに応じている。</p> <p>今回これら施設の「運営経費の削減」や「施設の統廃合」が打ち出されているが企業並みの採算性の議論を持ち込むことには反対である。(目的が異なる)ムダな経費の削減は当然であるが、行政の守備範囲を明確にし、行政の責務であれば収益性ばかりにとらわれず住民福祉の向上に努めるべきと考える。</p> <p>箕面市体育連盟は、スポーツ競技団体20協会の集まりであるが箕面市に於けるスポーツ環境は、同等の他市に比べスポーツ施設等の整備状況は数段に劣っている。このスポーツ施設整備不足は、「箕面市スポーツ振興計画」に定める「誰もがいつでも気軽にスポーツに親しみ楽しむことができる生涯スポーツの実現」には程遠い状況にある。特に今後人口増加が見込まれる「箕面新町」「彩都」のスポーツ環境とともに箕面市全体をどうするのが大きな課題となっている。</p> <p>緊急プランは、経費削減のみの試案を打出されているが、スポーツ施設の新設など「夢のある新たな施策」を同時に示して、市民の理解を求める方が納得できると思う。</p> <p>2、試案の個別事項について スポーツを通じた「健康づくり」や「仲間づくり」など生涯スポーツを進める箕面市体育連盟としては、以下の項目は逆行する提案であり反対である。 「試案番号53」公共施設・貸館使用料の改定 反対 「試案番号54」駐車場の有料化 反対 「試案番号55」公共施設・貸館使用料減免の見直し 反対 理由 上記「基本的考え方」で述べた文化施設やスポーツ施設などに企業並みの採算性を持ち込むのではなく、その施設が多数の市民に有効に利用される環境づくりが先決である。</p>
309	全体	<p>1 市民との議論の場の設定を 「緊急プランおよびゼロ試案は、ニュートラルで議論のたたき台」との説明を当初から受けております。説明会も、その内容についての説明であり、内容についての質疑に終始しているものと受け止めております。市長は、昨年暮れ、NHKで、全国に向けて徹底的な議論を約束しておられるが、先のVer1.1では結局パブコメによる意見聴取となっている。パブコメは、議論でなくある意味で一方通行の意見聴取にすぎません。特定の団体だけでなく、一般の多くの市民との双方向の議論を踏まえ、お互いの状況を思いやり、知恵を出し合う本来の議論の場を設定いただくよう強く要望します。</p> <p>2 経常収支均衡のみの視点から、将来展望を併せて提示すべき 経常収支の均衡は、原則的に重要な視点だと思います。しかし、そのことだけに囚われて、将来への展望を示すことができなければ、ある意味で削減あるのみで縮小のスパイラル(デフレスパイラル、縮小均衡)に落ち込む危険性を内包していると考えるのが普通であろう。金銭的にフルサポートできないことは時代の流れであることは理解できるが、それに変わる安心感をどのように獲得できるのか(するのか)を示すことが必要です。即ち将来に向かっての安心を獲得するための制度設計や基盤整備、場合によっては町を活性化するための将来を担う子どもや文化などへの大胆な投資もあっていいのではないのでしょうか。そのためにも、市民の知恵を引き出す場としての議論の場を、予算化、施策決定に先立ち設けることが必要と考えます。是非こうしたプロセスに取り組んでいただきたい。</p> <p>3 経常的経費のうちの一時的支出増加への対応 担当の方の説明によれば、H22年度の財源不足には、経常経費の費目ではあるが臨時的(一過性)の退職金引き当てなどが含まれるとのことでした。本来、退職金は継続的に準備されるもので、こうしたカタチでその資金を確保されること自体が全く不自然であると思います。そのことにより、市民サービスが削減されることは理解しがたい処理の方法と考えます。本来準備されるべき財源が準備されていなければ、これこそ財政調整基金などの支出により処理し、市民サービスへの影響を最小限にすべきではないかと考えます。</p>

No.	種別	意見
		<p>4 競艇事業が厳しくなる状況下での投資による増収策は反対 競艇の財源に対する貢献は一定限評価されますが、小規模専用場外発売機の設置推進は投資効果が不透明で、且つ安易に競艇事業依存体質(拡大志向)を招くものと考えられ、反対します。</p> <p>嫌悪施設の移出とも取れ、この面からも反対するものです。</p> <p>5. 参考資料 新市街地プロジェクトの収支に疑問 ゼロ試案 P11に示される国際文化公園都市(彩都)における 今後の支出 年間約3.5億円および今後の収入 年間約9億円の内訳の提示(説明)をお願いします。 水と緑の健康都市(箕面森町)も同様、提示(説明)をお願いします。</p> <p>6 政府の経済対策を受けて、一般財政への影響は この度多額の補正予算による経済対策が実施されようとしています。当然、自己資金を必要とするもので、今回のゼロ試案に対してどのような影響があるのか、市民にわかりやすく示されたい。</p>
310	全体	<p>緊急プランのほとんどの説明会に参加させていただきましたが、いずれも、ゼロチームの職員さんによる説明と意見聴取(ききおく)だけで、市長が言われたような「とことん討論する」場になっていません。説明会に市長やゼロチームのリーダーである副市長が出てきて、きちんと討論してください。(緊急プランをつうじて、本当の市民協働を醸成していただきたいです。)</p> <p>担当課とすりあわせ、検討したうえでだしてほしいです。</p> <p>声の大きい団体からのものは、1年ずらしたりされていますが、声をあげられない人の思いを反映させるには、一番現場に近い担当者とのすりあわせは、不可欠だと思います。</p> <p>優先順位のつけかたに、違和感を感じます。</p> <p>具体的に生活者の立場に立って考えられていないです。これでは障害を持った人が生活できません。社会福祉を削って芝生化や中学校のエアコンはかんがえられません。</p> <p>緊急プランの背景と今後の見通しについては次の点をおねがいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財源不足のなかがみかわからない。財源不足の内訳を市民にしめすべき。 ・予算と決算がまざって理解しにくい。 ・緊急経済対策との絡みでどのように試算が変わるのか、Ver.3までに示してほしい。
312	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・細部にわたる見直し、削減ですが、提示され方が私達市民にはわかりづらいものになってます。市の歳出すべてを提示されその上で、ではなく削減部分だけの提示なので他にもっと削れる部分があるのでは?と疑義を抱きます。 ・市独自の補助部分を削っていく方法ですが、では、独自性を失ってどうやって「箕面市」としての魅力を作ろうとしているのか、箕面市に住まう価値が失われ、箕面市ばなれを引き起こすだけではないかと危惧します。 ・子育て日本一、子どもへの将来の負担をなくすとのことですが、保育料、幼稚園にかかる経費、奨学金等、生じるにつれて負担が増す形です。一時期だけ手厚い補助等があっても人生をトータルで見ると決して子育てしやすさがこの箕面にあるとは思えません。 ・障害者や高齢者、シングルマザー等、社会的には困難なものを抱える人にとって最低限のセーフティネットは必要。施策で雇用を市で保障するなど別支えがあればカットも受け入れられると思うがそれもなく一律カットはおかしいです。 ・報酬カット(職免の)とありますが定年退職者の嘱託での再雇用などは見直さないのですか?

No.	種別	意見
315	全体	<p>緊急プラン(素案)・ゼロ試算Ver.2に定性的な内容ですが、意見を記載致します。</p> <p>(1) 今回の緊急ゼロプランでは今後、箕面市が公の立場で市民サービスをどのように支えているかという「理念」がわからない。 単純に今使われない施設や、行政が無駄と判断したり、受益者負担とすべきと思う内容について、想定上の金額を計上しているように見える。人口や年齢の動態を見極めて算出をしているのだろうか。少子・高齢化が急速に進行し、不況が進むなかで算出の根拠の見直しが必要と思う。(平均だけではわからないはずだが。)</p> <p>(2) 収支比率については単年度の収支比率が計上されているだけで、長期計画(彩都等)に伴う債務の返済、償還、将来の市民の負担については、考慮されていないように思える。具体的な説明資料が不足しているだけに余計そう思える。</p> <p>(3) 緊急ゼロプランの提示の際に、夕張市のようになるという話を市職員が語ったと聞いているが前市政でおおむね解消の方向になっていたのではないかと。であるとすれば、いたずらに危機感をあおっているだけではないのかという疑問がわく。</p> <p>(4) パブリックコメントといいながら、市の公共施設に資料も見当たらない。説明会の日時も働いているものにとっては、参加のしにくい日時と時間である。情報の開示が求められている昨今では配慮が足りないと思う。</p> <p>(5) 資料については最初は工夫があるなど見ていたが、詳細になると収入と支出で計算が逆になる(これはこれで正しいが)ことについて説明がないなど「わからなければ見るな」という姿勢ととられても仕方が無い書き方になっている。 最後に開示されたWordに入力をして作成をしましたが使いにくい内容です。「意見を提出できるかた」のうち、該当する区分(あてはまる番号に をつけてください。)の箇所に簡単に がうてるようになっていません。このあたりから、工夫をお願いいたします。</p> <p>以上</p>
364	全体	<p>平成21～23を過す。ゼロ試算説明を市民派ネットで聞く機会がありました。市の説明会のような機械的なものではなく、市民生活の細部を含む適切な説明と資料が出されました。それは、5ヶ年後の市民生活の実態が、可視化できるようなものでした。</p> <p>私は丁度“茹で蛙”の例えのように逼迫し、疲弊する市民生活を少なくはない人々と過ごしているだろう日々の暗示となりました。(まつりごとに信頼がはずけられない以上、男女を問わず若年者・高齢者の貧困化は拡大することになるのでしょうか。) 「もみじだより」では解らない。読んでいない。という声は少なくはなく、説明会 パブリックコメントという手段で市民の声を届けられるのは、ほんの一部です。叩き台として示されながら、たたき直す機会を十分に与えられず通過していきま。これで、市民と約束したことが果たされていくのでしょうか。折しも、総選挙に向けて国政が問われていきます。私は、この争点の中心に「地方主権」があると思っています。全国知事会の挙げる声が、多くの国民の願いに沿った地殻変動を起こしてほしいと思っています。(消費税配分・直轄事業負担・二重行政など)自治体間競争に打ち勝つために、弱者の乾いた雑巾も更に絞る為政は、市民社会の活性を収縮させ、いつか処断されること間違いありません。今、為すべきは市町村長会も挙げて、抜本改革を国に迫り、直に地方の時代のために働くことと思います。(広島市＝秋葉市長は早い時期から、市民のためにはたらく自治体活動の実践で効をあげてきました。)与えられた席で、隈無く市民のためにと考えられるなら、5ヶ年計画は見直しが必要です。市民と膝を突き合わせて詰めて下さい。出口は必ず見出せます。市長自身のためにも考える市民の多くと出会って下さい。(愚民政策は厳に戒めるべきです。)あらゆる生活圏の市民を網羅して、緊急プランを叩いて下さい。財政改革のための合意は必ず形成されていきます。たとえば、後期高齢といわれる私は、長寿祝金は不要。インフルエンザ予防接種自己負担は一部必要。健康管理に徹して医療費を抑えるとか市民の役割も自覚しています。事程左様に個別多様に暮らしと政治をつなぐ街づくりは共有できる筈です。</p> <p>箕面まつりも実行委員会形式にすれば500万円で開催できるよう。国保料も累進制で富裕層の収納率100%への努力で見直しはかかるなど、私共に理解の及ぶ限りで、暮らしに直結していく市政を、いつも凝視しています。将来に禍根を残さない市民のための施策を切に希っています。</p>

No.	種別	意見
374	全体	<p>今日の財政危機の最大の要因は、箕面森町や彩都地区をはじめとする開発が原因であることは衆目の一致するところである。これらの開発は数十年前から計画されており撤回することは容易でないとしても、今後期待通りに企業や住民が集まるとは考えられない。</p> <p>この点の反省なくして財政危機の解決を容易に市民サービス、とりわけ福祉サービスの切捨てに求めることは、およそ行政の理念からかけ離れたものである。そもそも「子どもたちの未来に負担を先送りしない」との前提に対し、ゼロ試案のいくつかは現在の子ども、および子どもを取り巻く環境に負担を押しつけるものにほかならない。</p> <p>まずは、社会的弱者に対する扶助費や補助金の削減を提案する前に、種々の土地開発を見直すことが先にあるべきと提言したい。</p>
392	全体	<p>母子家庭への水道代の減免をやめるのは反対です。それと児童手当、就労援助のカットも反対！！</p> <p>子育てとは就学前だけではなく中学・高校・大学までも費用がかかります。そういうところへの配慮がない。</p> <p>大規模工事の見直しがされてない。北大阪急行の延伸の積立をなぜ再開したのか？15年も積立をやめていたのにどれだけの必要性があるのか？</p> <p>緑、景観を大切にしたいながら、やっている事は反対のことばかり。市長のパフォーマンスばかりにはあきれられる。又、個人ブログやある一定の党の議員のブログが市役所のホームページにリンクしているのは絶対におかしい。それが市役所の管理のもとではなく、市長個人のものだというのはもっとおかしい！！市役所は一体どうなっているのか！！</p>
396	全体	<p>ゼロ試案には細かい数字がズラリと並んでいて一週間かかったが、結果、完全に理解できなかった。誰でも判るようにして欲しい。要するに開発費とそれに関連する借金の返済で大変だから費用を削減するということらしいが、削減対象は高齢者、障害者、児童、学生、病弱者を狙い討ちに行っている。</p> <p>開発業者に金は使っていないというが、数字を見る限り殆どは開発の重荷。市民が去る。安心・支え合い最優先は、障害者助成金カット福祉カット</p> <p>子育てしやすさ日本一は、保育、幼稚園の負担増、小中高生の奨学金カット</p> <p>緑・住みやすさ最先端は、山の緑を削り、高層マンション開発の自然破壊のことが意見書を「民意を聞いた」という免罪符にしないで欲しい。</p>
397	全体	<p>緊急プラン(素案)について</p> <p>世界的金融危機の中、日本の経済危機も深刻で、箕面市の財政も厳しくなっています。みんなで協力して財政難を乗り切らなければならないのは解りますが、無駄な公共事業に大金を使い、市民への福祉サービスを減らすというのは理解出来ません。例えば少ない年金の中から支払われる国民健康保険の値上げや、教育関係の補助や障害者支援の削減など私達市民から見たら最優先されるべきところが削られている気がします。</p> <p>彩都の小中一貫校建設もどれだけの人が住みつかわからない段階で早急に踏み切るのは危ない気がします。これから少子化が進む傾向で豊川北小や六中も教室がたくさん余っている状態です。作っては壊しというやり方は地球環境問題からも止めるべきです。当面はスクールバスで今ある小・中学校へ通ってもらい、どんどん人口が増えるようなら、そこで始めても遅くはないのでは？私達市民派の者だけがこの緊急プランに反対しているのではなく箕面市福祉関係でボランティア活動してる人たちも公の施設使用料などの反対署名にに廻ってらっしゃるのに驚きました。この問題はもっと市民に対話集会をもって意見交換する必要があると思います。</p>